



確かな学力の向上をめざして【11月①】

プロアクティブな生徒指導へ！～スクールカウンセラー（SC）と進める心理教育～

11月は、学校行事等による疲労や人間関係上のトラブル、学習への意欲低下など、子どもたちの不安定な心理状態が行動となって現れやすい時期です。中部地区でも、問題行動や不登校などが増加する傾向にあり、生徒指導・教育相談を効果的に行うための「未然防止」の取組が不可欠です。

何よりも大切なのは、全ての子どもたち一人一人の小さな変化を「成長のサイン」として捉え、寄り添う姿勢です。生徒指導提要においても、全ての子どもたちを対象とした未然防止のための生徒指導（**プロアクティブな生徒指導**）が極めて重要とされています。

この予防的なアプローチの1つが、スクールカウンセラーとの協働による心理教育です。

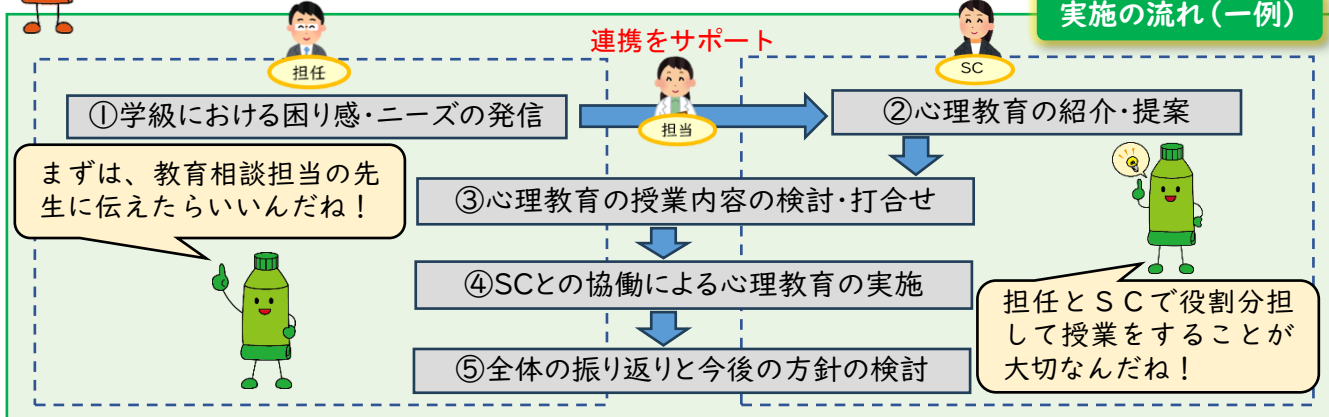
SC

心理教育にはどんなものがあるの？

心の健康に関する授業 ➡ ストレスマネジメントや感情のコントロール方法について学ぶ
SOSの出し方教育 ➡ 困ったときに周囲に助けを求める方法を学ぶ
アンガーマネジメント ➡ 怒りの感情に適切に対処する方法を学ぶ などがあります。

心理教育は、どのような流れで実施したらいいの？

実施の流れ（一例）



心理教育のほかに、未然防止の取組にはどのようなものがあるの？

中部地区の学校の取組を紹介します！（中部スクラム教育事業 第2回生徒指導担当者研修会 グループ協議より）

- ・教育相談週間の実施（心のアンケートを行い、全員面談を実施する）
- ・自己肯定感や自己有用感を育むような働きかけ（あいさつ、声かけ、励まし、賞賛など）
- ・子どもたちへの共感的な教師の関わり
- ・朝鑑賞で子どもたち同士の関わりをもたせる
- ・学校環境、教室環境を整える
- ・心の健康観察（気持ちメーター）を活用して、子どもの状況を把握する

未然防止は特別なものではなく、日常的に行うことが大切なんだね！

Point

- ◆「クラスでこんな課題がある」「どんな指導をしたらいいか困っている」など、学級での具体的な困り感やニーズを教育相談担当の先生に伝えましょう。
- ◆学級担任は、T1として授業を進行し、SCはT2として専門的な知見を活かしながら指導する役割を担います。授業のねらいを両者が共有し、入念な打合せをして授業に臨みましょう。

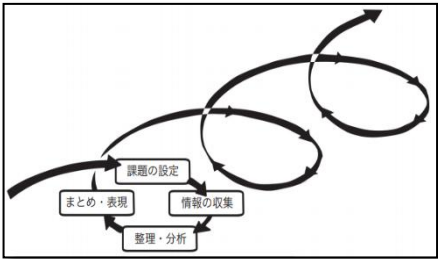


確かな学力の向上をめざして【11月②】

正解のない課題を探究し 社会とつながる「PBL」

“VUCA”とも言われる予測困難で複雑化していくこれからの時代は、正解のある問いに答える力ばかりでなく、正解のない問いに向き合う力が一層求められています。自ら問いを立て、多様な他者と協働しながら、正解のない課題を乗り越える主体的な力を育成するための実践的なアプローチの一つに、**P B L (Project Based Learning)**があり、全国でも実践をする小中学校が数多く出てきています。

- ◆PBLとは？ 🍷 児童生徒が実生活・実社会の中から課題を見付け、その課題を自ら解決する過程を通して、課題解決に必要な資質・能力を身に付ける学習方法で「課題解決型学習」とも言われます。
- ◆特徴は？ 🍷 **実生活・実社会にある「答えがない問い」を扱い、その課題解決に向けて探究し、解決策を社会に提案・発信していくところ**が、特徴の一つです。
- ◆PBLによる課題解決の過程は？ 🍷 実践により様々な違いはあれど、その基本構造は「総合的な学習の時間」が従来から求めている**探究的な学習の過程**（右図）と合致します。



難しく考えなくても、すでに総合的な学習の時間で実生活・実社会の課題解決に取り組んでいる実践や、各教科の学習でも同様の単元構成による実践が様々あります。PBLがねらっていることは決して特別なものではないですが、これからの子ども達の主体性を育む一つのアプローチとして、学んでみる価値はありそうです。もう少し実践のイメージを掴んでみたいという方は、右のQRコードを活用してみてください。

広島県竹原市立吉名学園 広島県江田島市立能美中学校区 「岡山型PBLガイドブック」
(岡山県教育委員会)



「ICTを活用したとっとり授業改革推進事業（学びの創造先進校）」による実践発表 PBL × 地域探究 12月10日(水) 倉吉市立東中学校

倉吉市立東中学校は、総合的な学習の時間を核にして、PBLによる地域探究学習に挑戦しています。生徒の主体性を育み、課題解決の力を育てるために、独自に8つの資質・能力を設定し、その育成を目指した取組をしています。生徒は「ふるさと倉吉のために自分たちに何ができるか」、解決すべきテーマを定め、その課題解決に向けて取り組んでいます。学校としてPBLに取り組み始めて2年目、試行錯誤の連続により少しずつ実践が形づくられてきています。地域を巻き込みながら課題解決に向かう生徒の姿、そんな学びを支える先生方の取組等、必見です。

【↓】3年生各グループのテーマ (9月実施の中間発表会より)

分野	解決すべきテーマ（倉吉市からのミッション）
産業振興	15歳の考える関金ツアープロジェクト
	呼び込み観光客！倉吉シールツアー
	関金応援プロジェクト
健康福祉人権	～Made equality～
	Get a healthy body ～健康な身体へ～
	暮らしくらし子育てマップ
教育文化	アートの卵たち
	Teachers' Recovery
	倉吉の部活を救え隊
生活環境	東リユース市
	倉吉にIT企業を誘致しよう
	倉吉をSNSでバズらせちゃおう
都市基盤	くらよし公衆電話マップ
	ぼうさいカルタ
	みんなの避難マップ大作戦

【当日の主な内容（予定）】

- ◆公開授業
3年生各グループ成果発表
- ◆これまでの取組過程の紹介
- ◆指導講師による講演
札幌国際大学 岩崎 有朋 教授



詳細は近日中に通知されますので、確認してください。地域をフィールドにしたPBLの具体を知りたい方はぜひご参加ください！小中の校種は関係ありません。